

## 平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	共同利用型高額研究機器整備費		担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度		担当課室	総務部会計課	金山 和弘					
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立感染症研究所の事業やその他研究機関との共同利用を通して実験の効率化と科学技術推進を図る。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	国立感染症研究所の共同利用型高額機器として、細胞自動分析分離装置及び超高分解能操作電子顕微鏡を整備。									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求				
		当初予算	80	79	79	77	78			
		補正予算								
		繰越し等								
	計	80	79	79	77	78				
執行額	80	79	79							
執行率(%)	100	100	100							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)			
	設備機器の管理運用のための経費であり、定量的な指標は示せない。		成果実績	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	細胞解析、電顕合計使用回数が1,016件 (75,787円/回)		活動実績 (当初見込み)	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件	細胞所内553回 所外 245回 電顕227検体	細胞所内550回 所外 334回 電顕132件	-			
				細胞所内541回 所外281回 電顕140検体	細胞所内577回 所外 283回 電顕144件	細胞所内 553回 所外 245回 電顕227検体	細胞所内550回 所外 334回 電顕検体 132件			
単位当たりコスト	(75,787円/回)		算出根拠	細胞解析、電顕合計使用回数が1025件 執行額7,700万円/1,016=75,787円						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	消耗品費	1	1	賃金の積算見直しによる増						
	借料及び損料	49	49							
	賃金	2	3							
	雑役務費	25	25							
	計	77	78							

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国 必 費 要 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○ ○ -	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。 感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。 会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。 一般競争入札において1者応札であったものについては、引き続き、入札参加者の確保に努める。			
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 受益者との負担関係は妥当であるか。 単位当たりコストの水準は妥当か。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○ - ○ - ○ -	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。 一般競争入札において1者応札であったものについては、引き続き、入札参加者の確保に努める。 少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。 事業の適切な遂行に必要な使途に限定し執行している。			
事業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	- ○ ○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。 整備されている共同利用機器については使用率も高く、十分に活用されている。			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-			
点 検 結 果	共同利用型高額機器である「細胞自動分析分離装置」及び「超高分解能操作電子顕微鏡」を効率的に利用している。(平成24年度利用実績 1,016回) 支出は5年リースの機器代と機器保守料、機器のオペレータの非常勤職員給与、および関連消耗品費からなっており、機器リース料は契約初年度に一般競争入札により業者の選定を行っている。機器の保守料についても同様に一般競争に付している。機器のリース料については、リース期間中の見直しの余地は乏しいが、機器の切り替え時期には機器の必要性の観点から再リースも含め費用対効果を最大化するよう検討する。					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	本事業は、感染症対策の推進に係る調査研究の遂行に必要な経費であるが、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り		-				
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年 626	平成23年 567	平成24年 504			

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

A.日立キャピタル(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	検査機器リース	32.59			
計		32.59	計		0
B.(株)池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	検査機器保守	8.76			
計		8.76	計		0
C.(株)豊島製作所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	検査機器修理	2.5			
計		2.5	計		0
D.非常勤職員A			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	技術補助員	4.01			
計		4.01	計		0

費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立キャピタル(株)	走査電子顕微鏡リース	32.59	随意契約	—
2	日立キャピタル(株)	細胞自動解析分離装置リース	4.34	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	細胞自動解析分離装置保守	8.76	2	99.88
2	(株)日立ハイテクフィールディング	走査電子顕微鏡保守	5.12	1	100
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)豊島製作所	検査機器修理等	2.5	随意契約	—
2	(株)日立ハイテクフィールディング	検査機器修理	0.17	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	業務補助	4.01	—	—
2	非常勤職員B	業務補助	3.17	—	—
3	メイワフォーラス(株)	備品の購入	1.99	1	99.6
4	理科研(株)	消耗品の購入	0.97	随意契約	—
5	日本電子(株)	備品の購入	0.56	随意契約	—
6	(株)八木理化	消耗品の購入	0.52	随意契約	—
7	岩井化学薬品(株)	消耗品の購入	0.5	随意契約	—
8	(株)豊島製作所	消耗品の購入	0.44	随意契約	—
9	(株)チヨダサイエンス	消耗品の購入	0.16	随意契約	—
10	(株)雄誠堂	備品の購入	0.15	随意契約	—